

## 所信

松田金幸

### 【はじめに】

「共に向上しあい、社会に貢献しよう」という理念のもと 39 名の志高き青年たちにより松阪青年会議所は設立され、その若い力は、地域の明日をおもい、未来を描きながら目の前に立ちただかる壁をひとつひとつ着実に越え、歴史を紡いできました。何か事を起こす時、何かに挑戦する時、そこには必ず困難が立ちただかります。しかし、それを幾度となく乗り越えてきたのは、若者だから持つその創造力や大胆な決断力、行動力であったのではないのでしょうか。青年の「青」は青二才と言われるほど未熟な者の喩として使われますが、青年だからこそまだ見ぬものを創造する力があり、困難とされることさえも打開する力強さがあるのです。

しかしながら、青年会議所活動を過ごす時間と共に誰しもが同じようにその力を発揮できるわけではありません。熱い情熱を持ち、悩み、模索することの繰り返しにより年輪を重ねるがごとく力を付け、活動への理解を深めていくのです。また、我々は時として「自己限界」を知らずのうちに設けています。それは、社会、組織を構成する一員としての日常的な環境適応なのかもしれません。しかし、より良い松阪の未来を創るべく、そして「明るい豊かな社会の創造」に向けて邁進していく一員として、我々は、変化していく自分を恐れず、大胆な発想を持ち、勇気ある行動を果たし続けていく青年団体でなければならないのです。自分達の未知なる可能性を信じ、懸命に限界を超えようとする尊い姿が、他者の理解を生み、松阪青年会議所にしかできない運動の展開に繋がるのです。63 年前に先輩諸兄が求めたものを我々も求め、若き情熱をもって未知なる可能性に挑戦していくことをここに誓わせていただきます。

### 【先導者として】

青年会議所は設立以来脈々と指導者育成という役割を担ってまいりました。我々の先輩の中には指導者として世界で活躍される先輩が多数おられ、その長年にわたる実績は、我々の実践している指導者訓練が間違いでないことを証明してくれています。

青年会議所活動をする上で自らが成長できる機会というのは必ず訪れ、その機会を手中に収める者と見逃す者との心構えの差が先導者としての成長に大きく影響します。人生において同じ機会は二度と来ませんし、ましてや機会を貯めることもできません。青年会議所活動における一度限りの機会を大切に、そこから果敢に挑戦してみてください。その挑戦は必ず、自らの人生を豊かなものに醸成させていくと確信いたします。社会における先導者とは決断し、実行して組織をより良い方向に動かす者のことであり、松阪青年会議所の会員一人ひとりが先導者でなくてはなりません。「新しい未来を創造する」ために全会員が先導者としての責任を果たし、自らの未来を自らの手で掴みとりましょう。

### 【青年経済人として】

我々は、紛れもなく青年経済人であり、企業だけでなく地域の経済を担う一人であります。我々は、それぞれの企業に育てられ、その企業はまちに育てていただいたからこそ、今の自らの立場があると言えるのではないのでしょうか。今、JAYCEEとして活動していることに感謝し、自らの企業、ひいては自らが住まうまちに恩返しをしなくてはなりません。「組織のため」「まちのため」を考え、実践していくのが青年会議所活動です。今、実践することは必ず青年会議所を卒業した後の社会貢献へ繋がります。未来永劫、ひとのためにまちのために生きていくために今、全力で青年会議所運動に取り組もう。未来のまちをおもい、まちを創造するのは我々の使命であると考えます。夢と希望に溢れるまち松阪を我々の手で創っていきましょう。

### 【青少年を育む者として】

各企業において社員に夢を与えるのは経営者としての大きな使命であり、経営者でしかそれは成しえませんが、同じように子どもたちに大きな夢を抱かせることは、まちに住まう、大人の使命です。そして、我々、松阪青年会議所は運動を通じて、子どもたちが未来に夢と希望をもてる松阪を創っていく使命があるのです。これは一朝一夕では成しえないのかもしれませんが、我々がその礎を築く必要はあります。本年が子どもたちにとって夢や希望を持つことのできるまち松阪を創る年といたします。先輩諸兄の示した軌跡に我々が立っているように、我々も未来ある子どもたちに夢と希望を示すことのできる運動を展開していきましょう。

### 【組織を創る者として】

今の松阪青年会議所があるのは、先輩諸兄が脈々と紡いでこられた利他精神の賜物であると考えます。未来の松阪を描き、未来の我々をおもい、運動を展開してこられたからこそ、今、我々は青年会議所運動ができているのです。

組織として運動を展開していくことは容易いことではありません。仲間同士でぶつかりあうこともあるでしょう、若さゆえに激高することもあるでしょう。しかしながらその未熟さこそが我々の強みでもあり、ぶつかり合い真剣に考動することができれば、必ず利他の心に気づき「新しい未来を創造する」ことができるでしょう。ひととひととが繋がり共助の精神を醸成させるために、未来の松阪青年会議所のために、そして未来の松阪のために、利他の心をもって共に2017年度の松阪青年会議所を創っていきましょう。そうすれば必ずこの組織は未来永劫続いていくのだと確信いたします。

### 【未来へ繋ぐ者として】

青年会議所における会員拡大の意義とは、常に新しい躍動感溢れる力を注ぐことで、組織としてより一層進化させることであると考えます。そして、その意義を全会員で共有し、会員一人ひとりがこのまちをおもい、LOMのことを愛し、日々の青年会議所運動に誇りと自信を持って会員拡大を進めることが、「新しい未来の創造」へと繋がるのです。青年会議所を「青年の学び舎」

であると考え、挑戦心と豊かな感性を持った会員同士が共に汗を掻き、切磋琢磨する中で自己を成長させ、生涯共に高め合える貴重な仲間に出逢うことができるという青年会議所の魅力をより広く伝え、未来に繋がる会員拡大を進めてまいりましょう。

#### 【三重ブロック協議会主管LOMとして】

我々は今までも、出向者と出向者を支援する仲間との相互関係を築いてきました。出向者は、出向先で学んだことをLOMへフィードバックする使命を果たし、LOMはその学びを取り入れることで進化を遂げてまいりました。互いが互いに感謝しあい使命を果たし続けることで松阪青年会議所を未来へ繋ぐことができるのです。今年度、松阪青年会議所は三重ブロック協議会事務局運営の主管をさせていただくことになりました。三重ブロック協議会だけでなく日本青年会議所、東海地区協議会にも多くの出向者を輩出することになります。この感謝と使命感の輪をLOMだけでなくブロック、地区、日本へ向けて松阪から発信していきましょう。そして、この経験の実は必ずや、未来の松阪青年会議所に花を咲かせることができるでしょう。

#### 【結びに】

私は「JCはひとである」と先輩から教わりました。その教えの通り、青年会議所ほど、ひとを育てることに重きをおいて活動する団体は他にないと確信しております。20歳から40歳というまだまだ社会においては未熟な者たちが集まり、真剣にまちのことを考え、行動し、共に成長することで、このまちの未来は無限に広がっていくのだと考えます。一人ひとりがJAYCEEとしての使命をもって真の「創造」を地域社会に示唆を与える。これが2017年度、松阪青年会議所のあるべき姿なのです。必ず新しい未来を我々の手で創ってまいりましょう。誰一人として措いていかない、誰一人として手は抜かせない、必ず松阪青年会議所会員全員の力で創っていくことを約束いたします。

さあ、新しい未来を創造するために我々しか歩むことができない道を歩き出しましょう。